

開閉操作説明書

グラウンドマンホール [自動錠タイプ : F8P/F3P]

型式 : WA-63/WA-42/WA-40/WA-33

ご使用の前に必ずお読みください

2015 年 8 月

日之出水道機器株式会社

目 次

■ご使用の前に.....	1
■部位の名称	2
■作業上の注意点.....	3
■ふたの開け方	4
●水平旋回.....	6
●垂直転回.....	7
■ふたの閉め方 ●水平旋回.....	8
●垂直転回.....	10
■ふたの取り外し方	11
■ふたの取り付け方	12

ご使用の前に

安全上のご注意

この取扱説明書は、シールロック(自動錠)機能付きグラウンドマンホールの開閉操作について必要事項を説明しています。

ご使用前によくお読みいただき、また、いつでもみられる確認できる場所に保管してください。

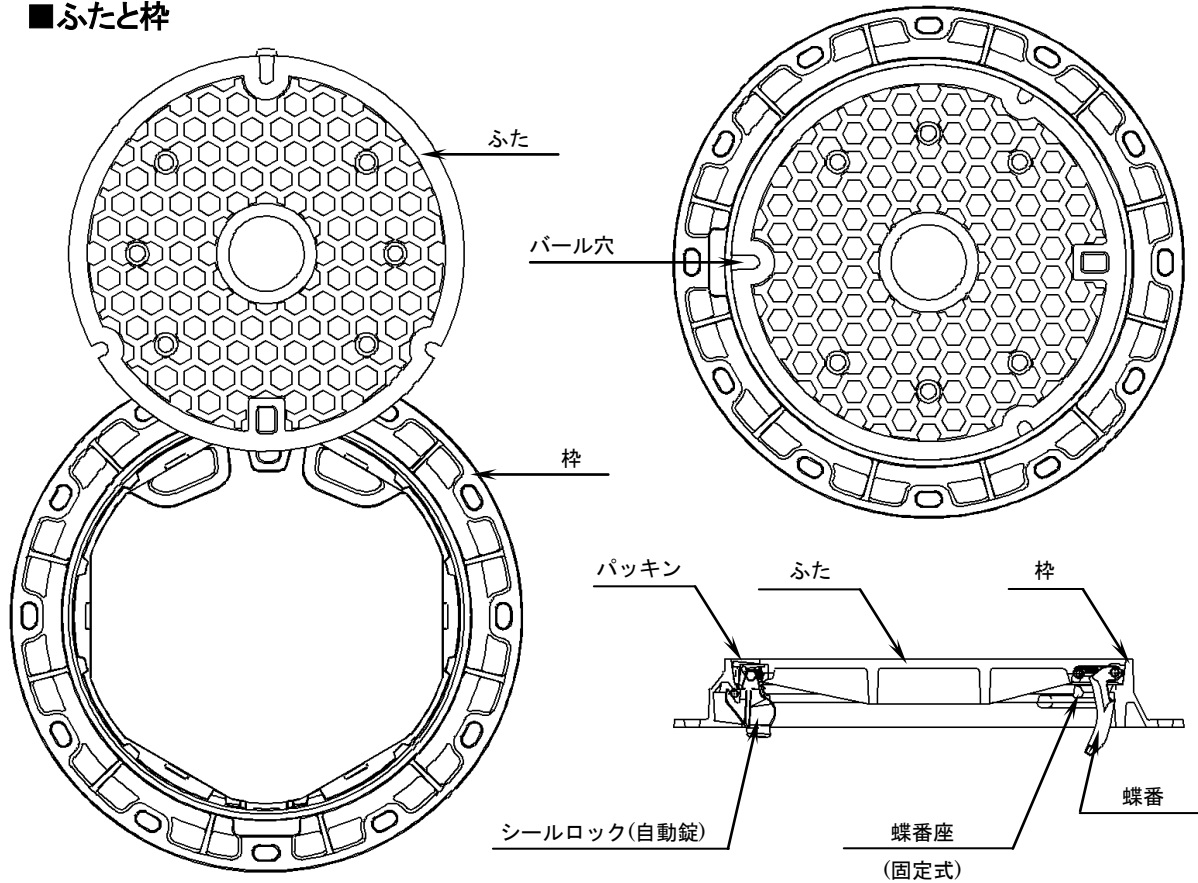
安全上の表示の意味

 警告	正しく取り扱わなかった場合に、人が死亡する、または重傷を負う恐れがある事項です。
 注意	正しく取り扱わなかった場合に、人が重傷を負う、または物的損害が生じる恐れがある事項です。
お願い	本製品の性能を保持するために、必ずお守りいただきたい事項です。

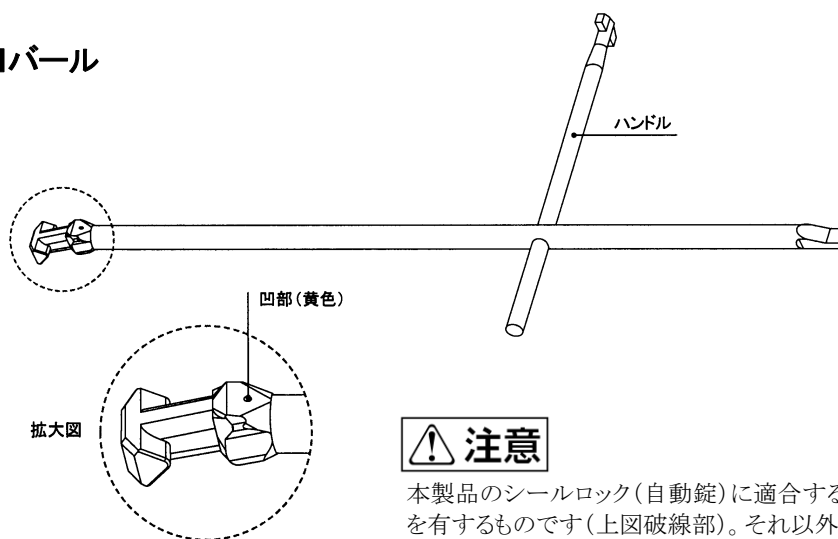
- ・安全にご使用いただくために、設置後「グラウンドマンホール[自動錠タイプ:F8P/F3P] 型式:WA-63/WA-42/WA-40/WA-33」の点検・整備を必ず行ってください。
- ・「グラウンドマンホール[自動錠タイプ:F8P/F3P] 型式:WA-63/WA-42/WA-40/WA-33」の設置・管理にあたっては、道路法、道路交通法、道路構造令、労働安全衛生法、騒音規制法などの関係法令を遵守し、安全には十分注意してください。
- ・記載されているイラストは、仕様の変更などにより、実際の製品とは異なる場合があります。
- ・記載内容に関してご不明な点がございましたら、弊社営業所までお問い合わせください。

部位の名称

■ふたと枠



■ボール



⚠ 注意

本製品のシールロック(自動錠)に適合するボールは、先端がT字形状を有するものです(上図破線部)。それ以外の先端形状のボールでは簡単にシールロックを開錠することはできません。そのまま無理に力を加えた場合、シールロックが損傷する恐れがありますので、本製品の取扱いには必ずシールロックに適合した専用ボールを使用してください。

作業上の注意点

警告

- ・ ふたの開閉操作を行うときは、周囲の交通事情に十分注意してください。
- ・ ふたの開閉操作を行うときは、開口部の周囲に保守柵または覆工板の設置、あるいは保守要員を配置するなど、安全対策に万全を期してください。
- ・ ふたの開閉操作を行うときは、足場を十分に確保し、マンホール内に転落しないように注意してください。
- ・ ふたの開閉操作は静かに行い、ふたを足元に落下させたり、手を挟んだりしないように注意してください。

注意

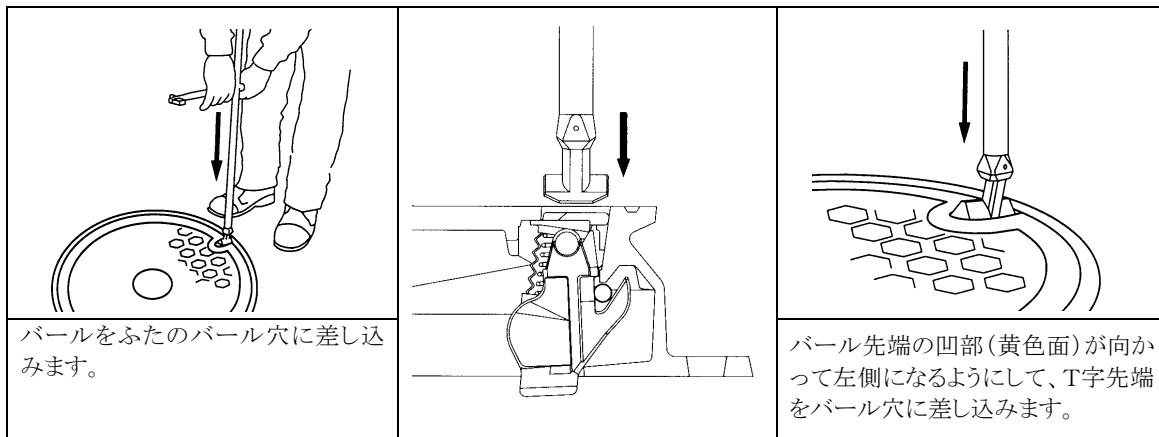
- ・ ふた、枠は機械加工によって鋭角になっています。素手で扱うと怪我をする恐れがありますので、必ず手袋を着用してください。
- ・ ふたを閉める際には、ふたと枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。
ふたと枠の勾配面に異物が介在している場合、がたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。

お願い

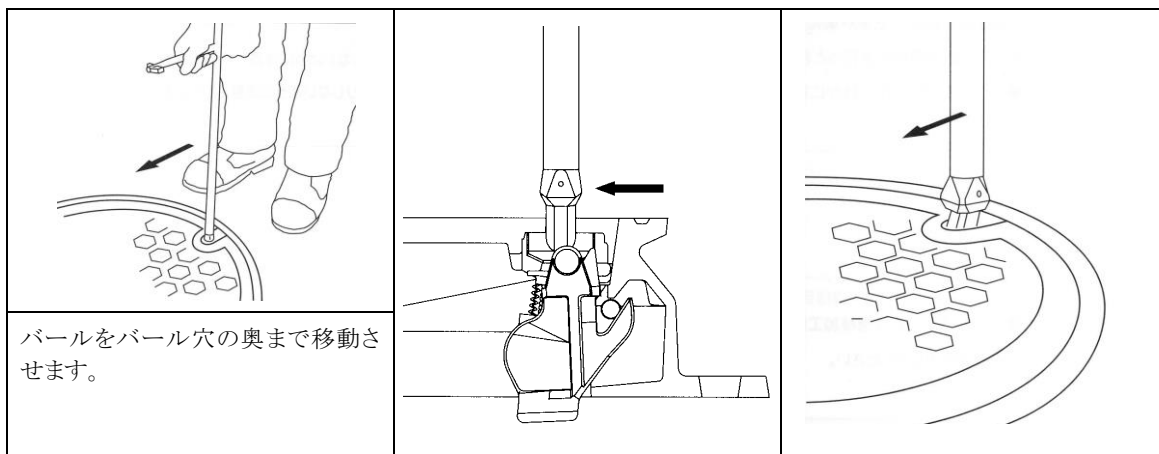
- ・ 当製品の開閉操作に際しては必ず専用パールをお使いください。
専用パール以外での開閉操作は危険であり、シールロック(自動錠)の変形を招き開放ができなくなる可能性があります。
- ・ ふたと枠の表面縁部は、ハンマーなどでたたかないでください。

ふたの開け方

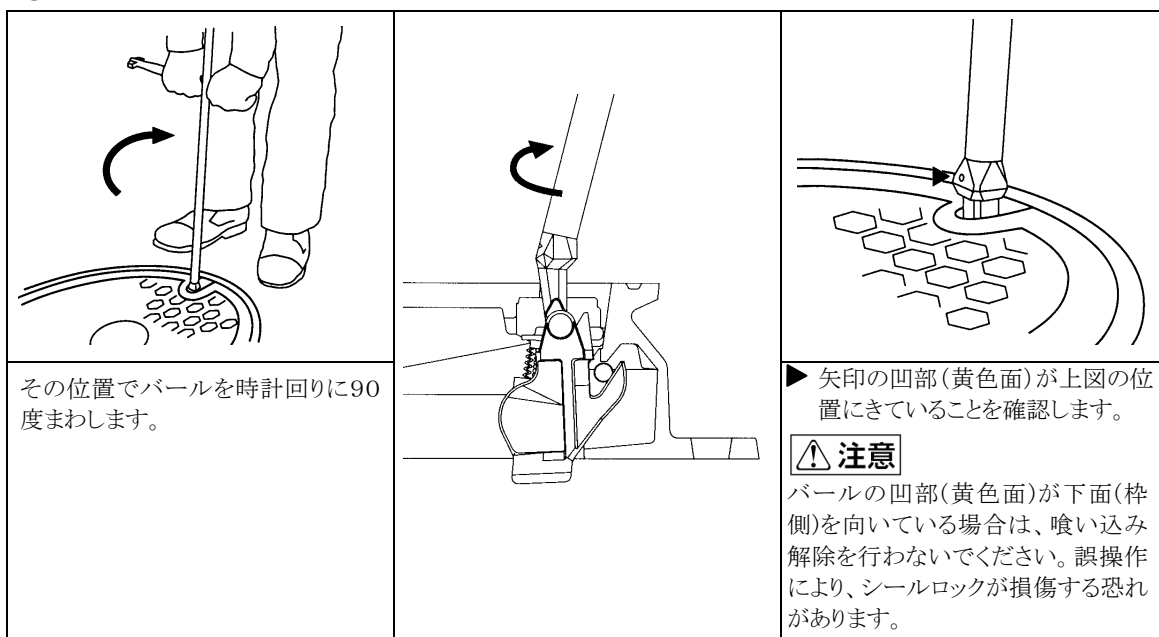
①バールの挿入



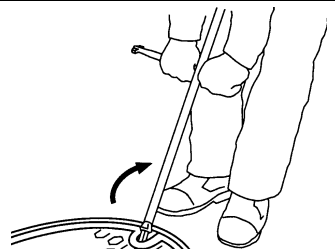
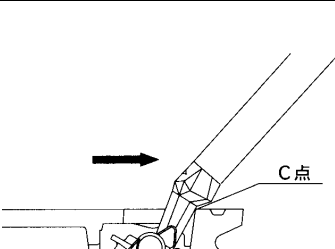
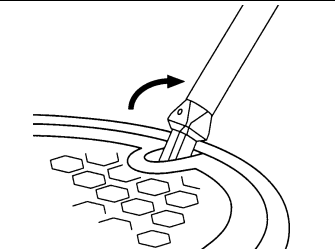
②バールの奥への移動



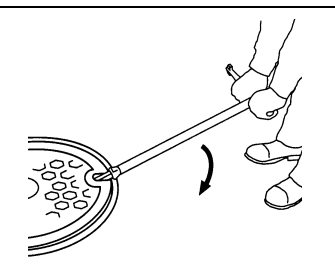
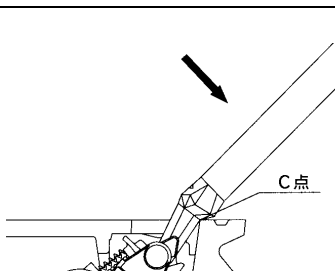
③バールの90度回転



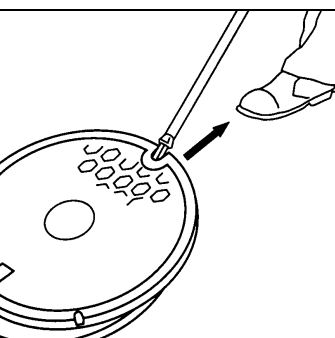
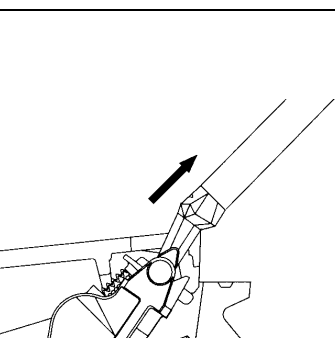
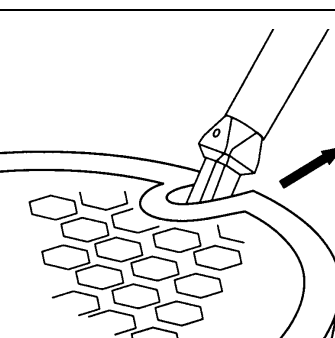
④バールの引き寄せ

		
お願い そのままバールを手前に引き寄せて、バールの支点の位置(C点)を、枠の角に合わせてください。このとき、バールのT字先端でシールロックの爪を押して錠が回転し、開錠します。	C点と枠の角が合わないと、ふたの喰い込みを解除できない場合があります。	⚠ 注意 バールを、バールの支点位置(C点)まで引き寄せるまで、ふたの喰い込み解除を行わないでください。バールの支点位置(C点)以外の箇所で行った場合、シールロックが損傷する恐れがあります。

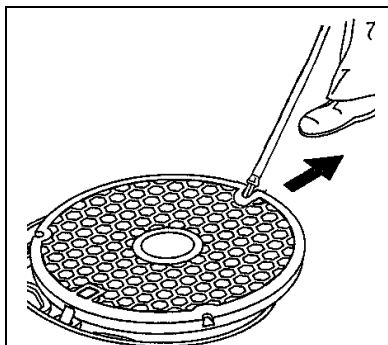
⑤ふたの喰い込みの解除

	
次にバールのハンドルを押し下げると、C点を支点にしてテコの原理により、ふたと枠との喰い込みが解除されます。	

⑥ふたの引き出し

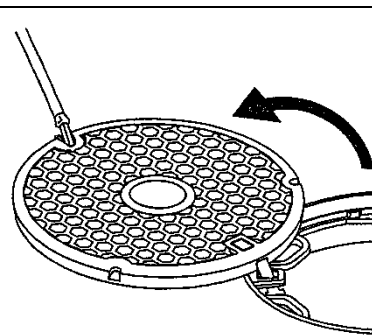
		
ふたが浮いたら、そのままバールのハンドルを持ってふたを持ち上げ、開けてください。		お願い このとき、スムーズな開閉操作を行えるように、バールを手前に引き寄せたままにしておいてください。

① ふたを手前に引き出す



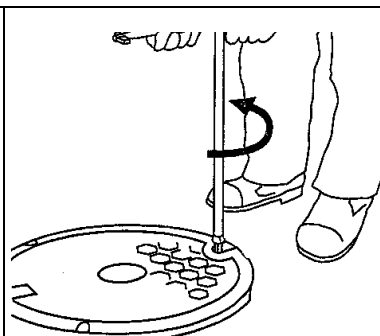
パールを持ち上げ、ふたを手前いっぱい引き出します。

② 水平旋回



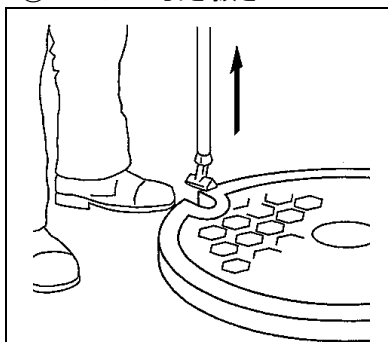
パールはフックも兼用していますので、ふたを十分手前に引き出したままで水平旋回して開放します。

③ パールの 90 度回転



パールを抜取るためにパールをパール穴の奥まで移動させます。その位置でパールを反時計回りに 90 度まわします。

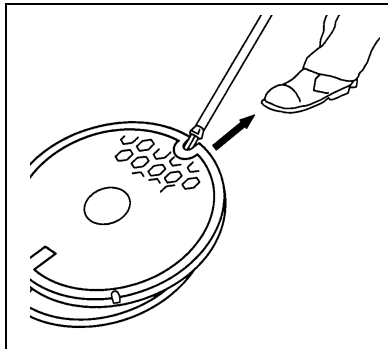
④ パールの引き抜き



パールをパール穴から抜き取ります。

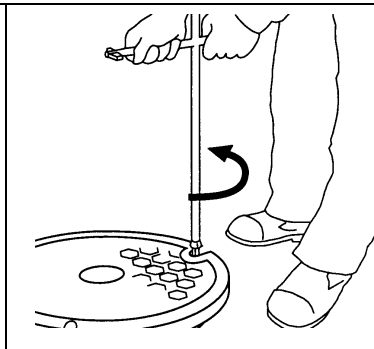
垂直転回

① ふたを手前に引き出す



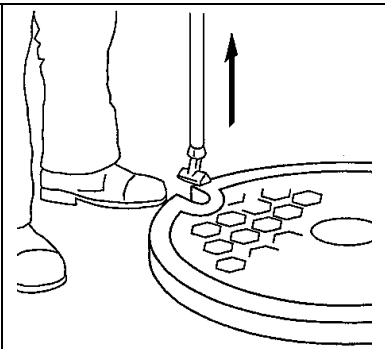
パールを持ち上げ、ふたを手前いっぱい引き出します。

② パールの 90 度回転



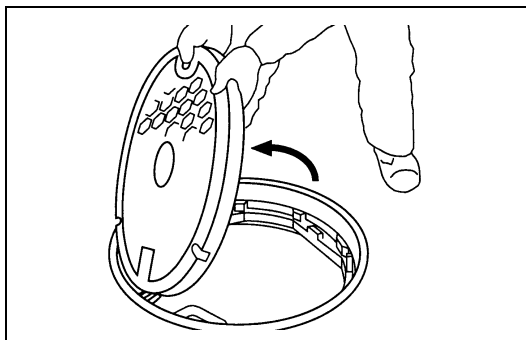
パールを抜き取るためにパールをパール穴の奥まで移動させます。その位置でパールを反時計回りに 90 度回します。

③ パールの引抜き



パールをパール穴より抜き取ります。

④ 垂直転回



警告

ふたの縁巻を持ち、静かに垂直転回を行います。この時に指などを挟まないようにふたと地面の間には枕木を敷いてください。また、垂直転回を行うときは足場を十分に確保し、マンホール内に転落しないよう十分注意してください。

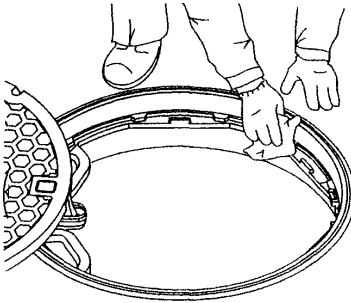
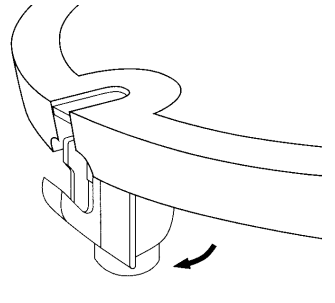
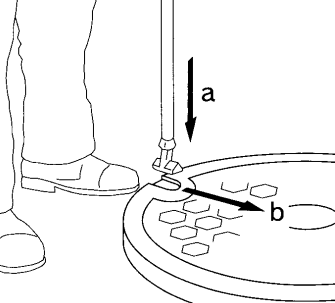
ふたの閉め方

水平旋回

お願い

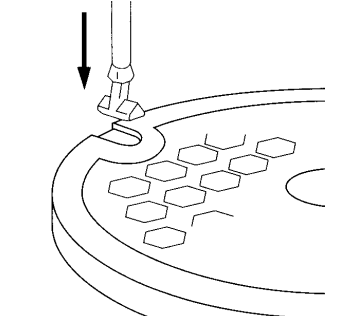
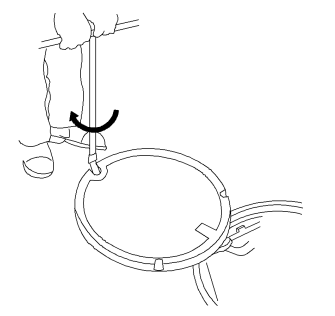
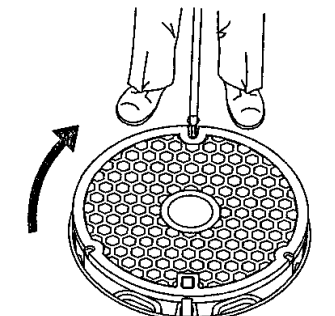
水平旋回によるふたの閉め方は水平旋回により開けた状態(ふた表面の模様が上側にある状態)のふたを閉める際に適用してください。

① パールの挿入

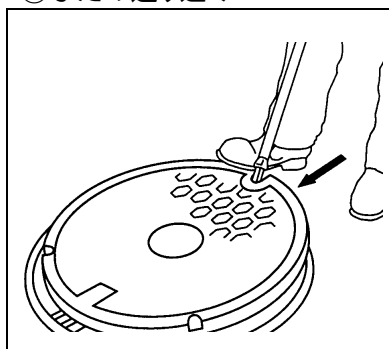
		
⚠ 注意 ふたを閉める際には、ふたと枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。ふたと枠の勾配面に異物が介在している場合、がたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。	パールを差し込む前に、シールロックを立ててください。シールロックが上図の状態にない場合は、パールの挿入が行いにくくなります。	パールのT字先端の凹部(黄色面)が向かって左側になるようにして a パールのT字先端をパール穴に垂直に差し込みます。 b ふた中心方向にスライドさせます。

② パールの90度回転

③ 水平旋回

		
お願い パールは、ふた上面から垂直に差し込んでください。ふた側面方向から差し込むような操作は、ふたを枠に納めた後、パールの引抜きができなくなることがあります。	その位置でパールを時計回りに90度まわします。	パールでふたを持ち上げながら旋回を行い、上図のようにふたを引き出した位置に移動させ、地面に置いてください。

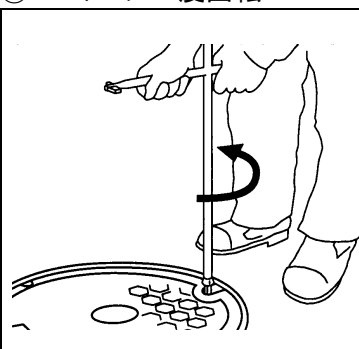
④ふたの送り込み



お願い

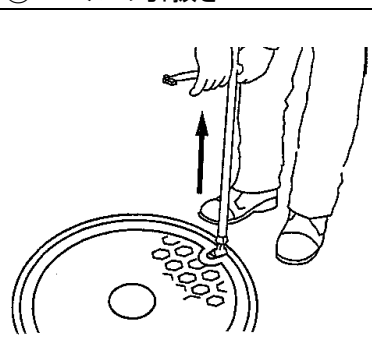
ふたを送り込むときもパールのみで無理に押し込まず、必ずパールでふたを持ち上げ、足で押しながら枠内に静かに戻してください。

⑤パールの90度回転



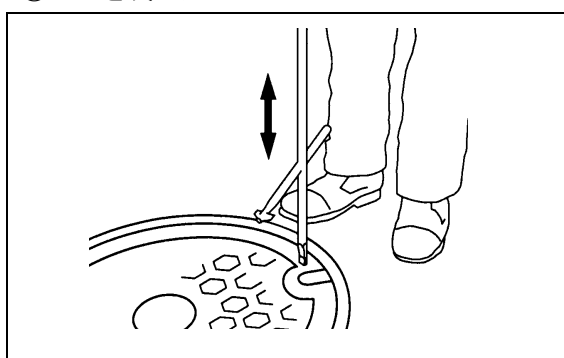
パールをパール穴の奥まで移動させます。その位置でパールを反時計回りに 90 度回します。

⑥パールの引抜き



パールをパール穴より抜き取ります。

⑦ふたを喰い込ませる



お願い

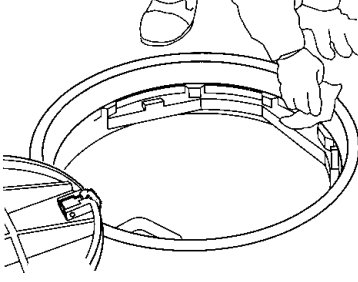
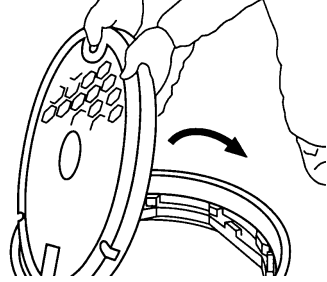
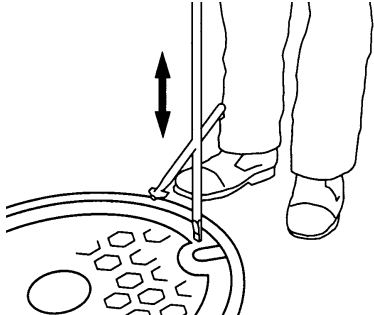
ふたの浮き上がり、および斜め喰い込み現象がないようにふた外周をパールで軽くたたいて、ふた表面のレベルを調整してください。このとき、ハンマーなどではたたかないでください。最後にシールロックのパッキンが正規の位置(パッキン上面がふた上面と平行)に戻っていることを確認してください。

垂直転回

お願い 垂直転回によるふたの閉め方は垂直転回により開けた状態（リブのあるふた裏面が上側にある状態）のふたを閉める際に適用してください。

① 直転回

② ふたを喰い込ませる

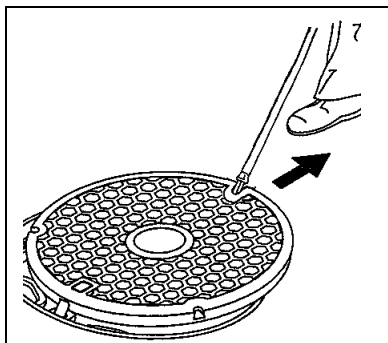
		
⚠ 注意 ふたを閉める際には、ふたと枠の勾配面を清掃し、土砂などの異物を除去してください。ふたと枠の勾配面に異物が介在している場合、がたつきが発生し、最悪の場合、ふたが飛散する恐れがあります。	⚠ 警告 ふたの縁巻を持ち、垂直転回を行い静かに枠内に戻してください。	お願い ふたの浮き上がり、および斜め喰い込み現象がないようにふた外周をバールで軽くたたいて、ふた表面のレベルを調整してください。このとき、ハンマーなどではたたかないでください。最後にシールロックのパッキンが正規の位置（パッキン上面がふた上面と平行）に戻っていることを確認してください。



垂直転回を行うときは、足場を十分に確保し、マンホール内に転落しないように注意してください。また、操作は静かにいき、ふたを足元に落下させたり、手を挟んだりしないように注意してください。

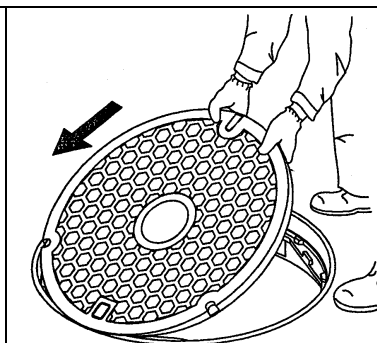
ふたの取り外し方

① ふたの引き出し



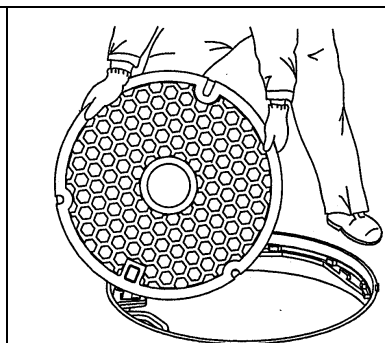
パールでふたを引き出します。

② 蝶番の移動



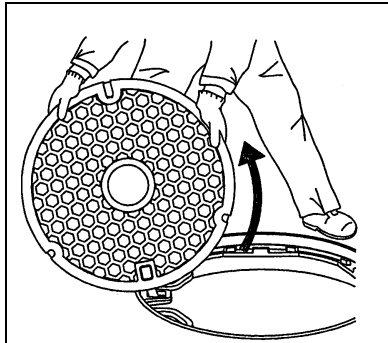
ふたを手で持ち上げ、上図のように
枠の勾配面に押し当てます。

③ ふたの回転

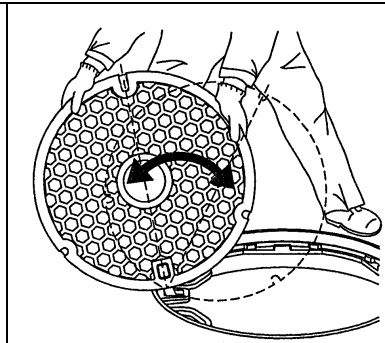
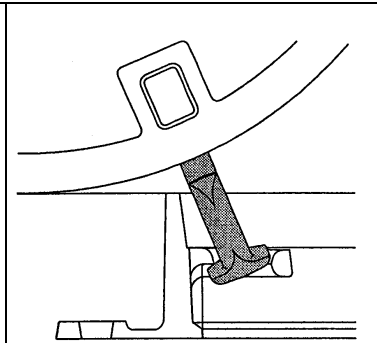


ふたを枠の勾配面に強く押し当てな
がら、ふたの裏面が上図の向きに向
くように 90 度回転させ、そのまま枠
の上面に乗せます。

④ 蝶番の抜き取り



ふたを転がしながら、蝶番を蝶番座より外します。



蝶番が蝶番座に引っ掛かっている
時は、ふたを少し戻してから再度転
がしてください。

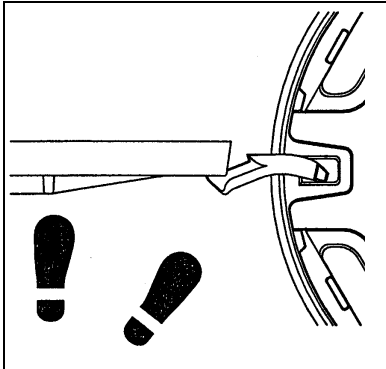


警告

ふたの取り外しおよび取り付けの際、指の挟み込みや、マンホール内への転落には
十分注意してください。

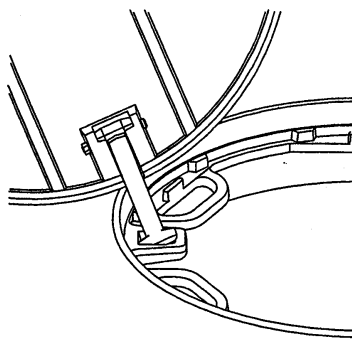
ふたの取り付け方

①ふたの配置

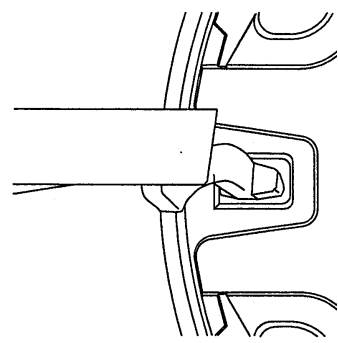


ふた裏面を手前に向け、枠に対して図のような位置に立ちます。

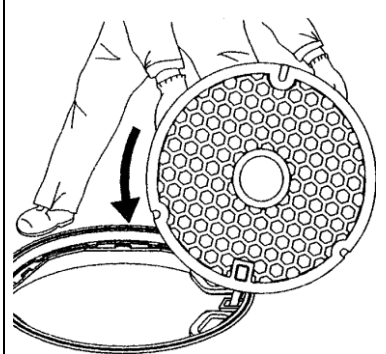
②蝶番の位置合わせ



ふたを転がしながら蝶番座に蝶番を合わせます。このとき、蝶番は枠の勾配面上部に接し、さらに蝶番座の溝に対し一直線上にくるように合わせてください。

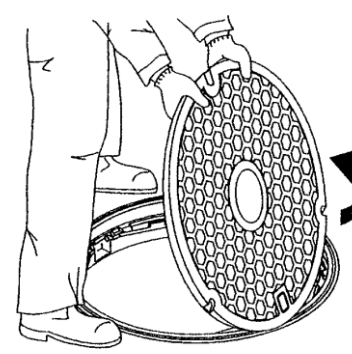


③ふたの落とし込み込み



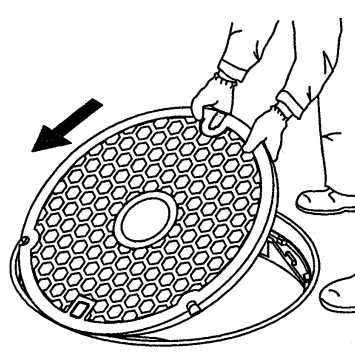
蝶番が蝶番座の溝上にあるのを確認しながら、ふたを落とし込みます。

④ふたの回転



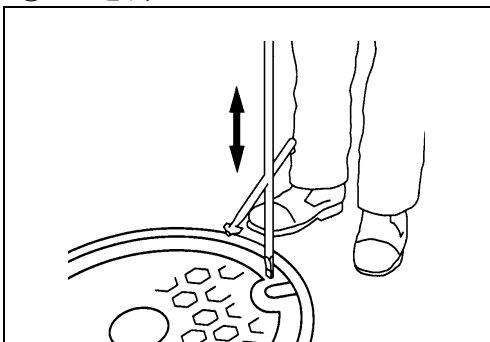
ふたを上図の方向に90度回転させます。

⑤閉蓋



ふたを枠の勾配面に押し当てながら、ふたを閉めます。

⑥ふたを喰い込ませる



お願い

ふたの浮き上がり、および斜め喰い込み現象がないようにふた外周をパールで軽くたたいて、ふた表面のレベルを調整してください。このとき、ハンマーなどではたたかないでください。